

## 「高知県 岩戸海岸(いわとかいがん)侵食対策事業」

高知県室戸事務所長 仙頭 久也



### (地形の概要)

岩戸海岸は土佐湾に土佐湾に面した高知県東部の室戸市に位置しており、県東部の唯一の幹線道路である国道55号と平行している海岸線延長1,468m、海岸保全区域延長1,468mの海岸です。

### (事業の概要)

当海岸は、広大な砂浜を有していましたが約50年間で40m程度も砂浜が後退し、台風等の高波時には越波によって、幹線道路であり地域の生活道として重要な国道の通行止めが頻繁に発生していました。このため、平成13年度より侵食対策事業に着手し、砂浜の安定を図ることになりました。特に、当海岸はウミガメの上陸産卵場所として有名な海岸で、高知県うみがめ保護条例に基づく生育地等保護区として指定されているため、ウミガメの上陸を妨げず自然環境に配慮するとともに、波の打ち上げ高を低減できる人工リーフの工法を採用しました。この結果、今年度までに人工リーフ8基(L=960m)が暫定完成し、背後への越波被害の解消や砂浜の回復が見込まれています。

事業実施にあたっては、地域住民、関係機関の皆さまにいろいろご協力いただきました。厚くお礼を申し上げます。今後も引き続き、堤体の点検、補強など地域の安全安心向上に取り組んでいきたいと考えています。

位置図

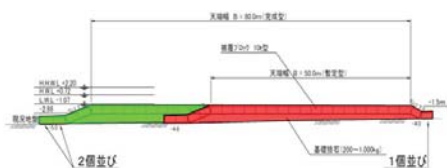


岩戸海岸

平面図



標準断面図



地元小学校によるウミガメ放流



航空写真



## 「室戸市の海岸について」

室戸市長 小松 幹侍



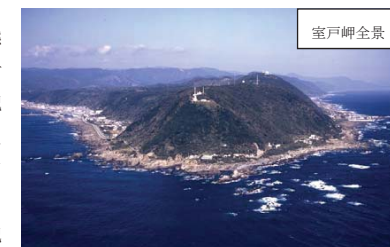
室戸市は、県都高知市の東方78kmに位置し、太平洋にV字形に突出した日本八景の室戸岬を中心に東西53.3kmの海岸線を有しており、市域面積は248.25km<sup>2</sup>、人口約1万5千人の市です。

地形は面積の約8割以上を山林が占め、南北に山脈が縦走り、海岸近くでは特異な海岸段丘を形成しています。この特異な海岸を含めた半島地域全体が、平成23年9月に「世界ジオパーク」に認定されました。

地質遺産とともに文化遺産や生態系の多様性などを楽しむ場所がジオパークです。室戸半島では、古第三紀(約5千万年前)から現在にかけて、地球のダイナミックな営みによって生じた地質や地形を見る事ができます。また、珍しい亜熱帯植物や天然記念物(県・国)指定の植物を観察することができます。さらに、自然に育まれた歴史や文化に触れたり、地形を活かした農業、海流と深層水に影響を受ける漁業と産業など特異な地形、地質と共に育まれた人間の営みを実感できます。

今後とも、自然との共生を図り、安心して暮らせる地域づくりに努めてまいります。

室戸岬全景



アコウ(天然記念物)



神輿洗い

